

MCR 学級　社会教育施設見学

○　目的

- ・学級生が社会教育施設の見学を通して市の魅力に触れ、郷土愛を深める。
- ・情報交換等を通し家庭教育学級の活性化を図る。

1 戸定が丘歴史公園

(1) 日時、参加人数

10月15日（水）10：00～12：00 26人

(2) 内容

- ① 開会行事 担当職員・松戸シティガイドの紹介
名誉館長挨拶、
- ② 学習支援専門員による紙芝居
「幻の將軍　徳川昭武」
- ③ 参加者の自己紹介による交流
- ④ 見学 戸定邸→戸定歴史館→東屋庭園
- ⑤ 閉会行事 次回 MCR 学級の紹介、諸連絡

(3) 概要

あいにくの曇り空でしたが、雨も上がりすべての日程を行なうことができました。例年通り、戸定邸の客間に集合し、開会行事を行いました。齊藤名誉館長からご挨拶をいただき、続けて、田中學習支援専門員による紙芝居「幻の將軍　徳川昭武」を披露していただきました。その後班毎に車座となって自己紹介を行なっていただきました。短時間でしたが交流を通して仲間づくりにつながりました。

続けて班に分かれ、松戸シティガイドさん先導の元、戸定邸内を見学(40分)しました。戸定歴史館では大沼学芸員による企画展「万博・博ー1867パリから、はじまるー」の説明や展示物の管理維持についての説明

(25分)がありました。その後表門（茅葺門）から始まり、庭園整備の経緯や植栽などについて、名誉館長からの詳細な説明(20分)を伺ながら、東屋まで見学・散策しました。

(4) 参加者の主な感想

- ・ガイドの方にとても分かりやすく説明をしていただき、松戸にもこんなにも歴史深い場所があるのだととても勉強になりました。
- ・学芸員さんのお話が心に響きました。歴史を知ることの意味、松戸は実はすごいところなんだと改めて感じられました。
- ・戸定邸のシティガイドさんの話も、紙芝居の読み聞かせも、学芸員さん、名誉館長さんの話もこの土地に対する愛を感じ、感動しました。
- ・普段は入れないような所に行ったり、貴重な体験でした。学芸員の方や案内の方、名誉館長の話など分かりやすく聞き入れやすい話し方でとても良い時間を過ごせました。
- ・ここ（東屋庭園）に以前大きな建物があったことなど知らなかったので、大変驚きました。こういう歴史としても意味のある景観にしていただきありがとうございます。



2 松戸市立博物館

(1) 日時、参加人数

10月30日（木）10：00～12：00 17人

(2) 内容

①開会行事 参加者の自己紹介

学芸員より企画展及び常設展についてのガイダンス

見学についての諸連絡

②見学 2班に分かれて企画展、常設展、復元竪穴住居の3ヶ所を見学

③閉会行事 次回のMCR学級の紹介、諸連絡

(3) 概要

講堂での開会行事では、青木学芸員より常設展と企画展「誕生・結婚・死の儀礼

～人生の始まり方 終い方～」についてのガイダンスをうけました。それぞれに興味関心が高められたところで見学会が開始されました。

効率良く見学できるようにと配慮し、2班に分かれての見学会となりました。企画展見学の際には、1班は青木学芸員、2班は米村学芸員の説明を聞きながら見学をしました。

多くの人が企画展の誕生・結婚・死の儀礼に思いをはせ、魅入っていました。復元竪穴住居では、焚火がたかれ、博物館職員が説明や実演等をしてくださったりしたので、参加者たちは、松戸市の歴史についてより一層理解を深め、郷土愛が培われたようです。

(4) 参加者の主な感想

- 博物館の施設見学は、毎回テーマが違うので楽しみにしています。今回のテーマは、人生の誰もが通る道なので興味深く、詳しく知りたいと思い参加しました。
- 私の知らない松戸を知れる良い機会となりました。もっと自分が育ち、今も住んでいる松戸を知りたくなりました。
- 竪穴住居には以前も入ったことはありましたが、今回は季節柄焚火の暖かさを感じられて、良かったです。造りについての説明もじっくり聞いて楽しかったです。
- 常盤平団地が、当時は高収入の方々の住まいだったと知り驚きました。
- 企画展が面白かったです。人としての一生が時代によってこうも神聖に扱われていた事実、簡略された現在、歴史を知ることは重要だと改めて感じました。
- こういう場所があると知ることができ良かったです。次回は、子どもを連れてきたいです。

